

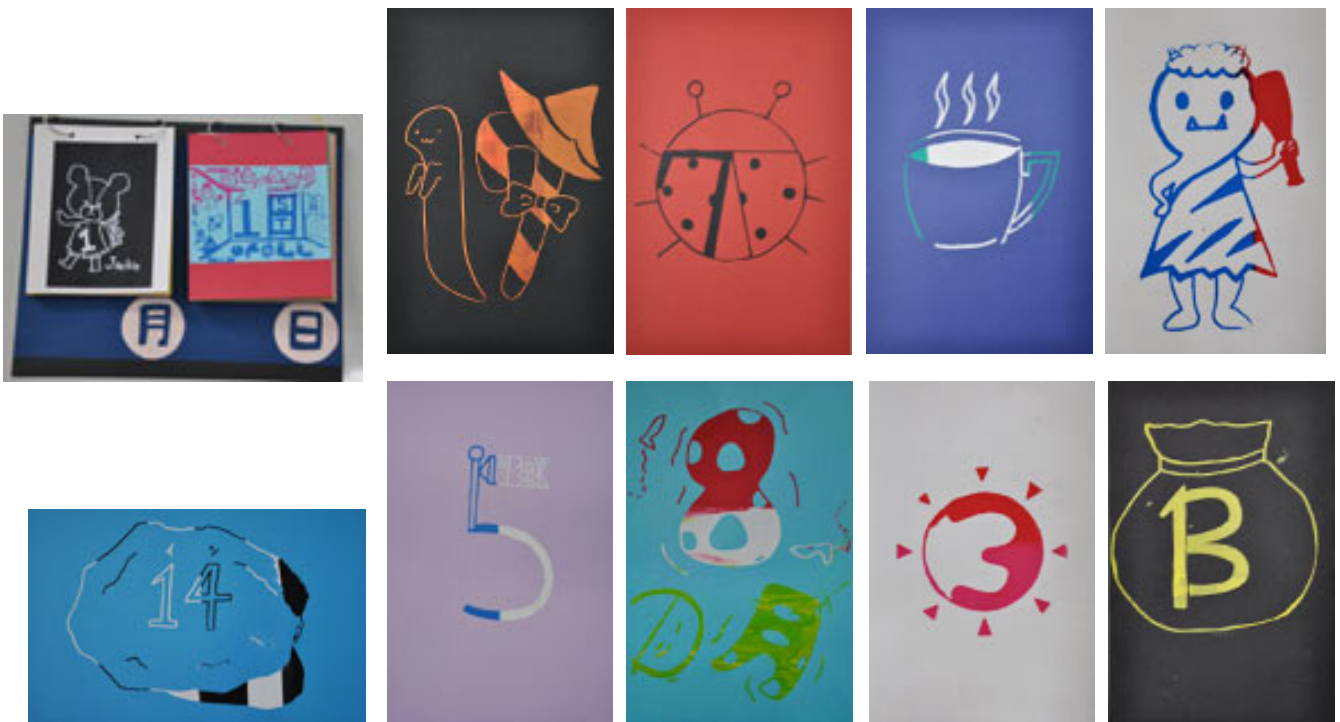
中学校美術科出前授業 - 『スクリーンプリントでカレンダー作り』 -

2014年2月26日、3月3日の2日間2時間に渡り、絵画ゼミ3回生の蛭名伽衣さんが中心となって、附属池田中学校1年生C組(41名)を対象にスクリーンプリントの出前授業を行いました。蛭名さんは教育実習でお世話になった生徒たちに学生自身の研究対象であるスクリーンプリント実技の授業を紹介しようと本格的な感光乳剤を用いた版作りから、刷りに至るまでの行程を丁寧に指導しました。41人の生徒一人一人に1月～12月、1日～31日までの数字を割り振り、それぞれのデザインを完成させ一つの月日めくりカレンダーを作成するという題材で、生徒たちは皆、新たに出会う技法に強い興味・関心を抱き、限られた時間内でスキージーでの刷り上げに必死で挑戦していました。

◇授業の様子：



◇完成作品：



美術科学習指導案

授業者：蛭名 伽衣

1 日時 平成26年2月26日(水) / 3月3日(月) 3時限目

2 場所 大阪教育大学附属池田中学校 美術室

3 学年・組 第1学年C組

4 題材名 スクリーンプリントでカレンダー作り

5 単元設定の理由

スクリーンプリントを知り、孔版印刷の仕組みを理解してもらうため本題材を設定した。

〈題材観〉 スクリーンプリントの技術を用いて、クラスで一つのカレンダーを制作する。版画技術の中でも大量印刷が容易なシルクスクリーンの技術を体験し、大量に複製できる、色を容易に変えることができる、様々な支持体に行うことができるなどといった特徴や利点を感じ取って欲しいと考えた。また、その上で、版作りの際には実際に刷ったらどうなるか、想像をふくらませ図案や色を工夫する能力を身につけることができる。

〈生徒観〉 一学期は素描を通して基礎的な描写力と、集中して作品制作に取り組む姿勢を身につけてきた。

〈指導観〉 孔版印刷の仕組みに興味を持ってもらうために、実際に刷ってみせること、様々な作例を提示することが大切である。また、その仕組みを理解した上で図案を考えるために、製版の際に考えられる利点や難点を提示し、版に起こした時に刷りやすい図案を考えさせる。

6 単元の目標

- ・スクリーンプリントを知り、孔版印刷の仕組みに興味を持つ。(関心・意欲・態度)
- ・孔版印刷の仕組みを理解した上で適した図案を考える。(発想や構想の能力)
- ・図案や色を印刷法に合わせて工夫して制作する。(創造的な技能)
- ・他者の作った作品から工夫した点やよさを感じる。(鑑賞の能力)

7 単元評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
スクリーンプリントを知り、孔版印刷の仕組みに興味を持つ。	孔版印刷の仕組みを知り、特性に合った図案を考える。	図案や色を印刷法に合わせて工夫して制作する。	他者の作った作品から工夫した点やよさを感じる。

8 指導計画(全2時間)

第一次 図案下書き・清書(1時間) 第二次 製版・刷り(1時間)

9-1 本時のねらいと展開 (本時 1/2)

- ①本時の目標 孔版印刷の仕組みに興味を持ち、図案を考える。
- ②準備物 指導者：第二原図用紙・木枠・テترون 生徒：筆記用具・スモッグ
- ③本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
導入	○ スクリーンプリントの版、作品、実際の制作方法を見て、孔版印刷の仕組みを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 様々な支持体に刷った作品(本物や図版)を見せて、スクリーンプリントの多様性を紹介する。 実際に作品を刷って見せて、図案を考える際のヒントにする。 	<ul style="list-style-type: none"> スクリーンプリントを知り、孔版印刷の仕組みに興味を持つ。(関心・意欲・態度)
展開	○ 担当する数字をデザインし、図案を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 予め生徒がそれぞれ担当する数字を決めておく。 感光させることを考えながら図案を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 孔版印刷の仕組みを知り、特性に合った図案を考える。(発想や構想の能力)
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図案の提出 ○ 次回活動内容の確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回授業の際に感光作業に入れるように図案を第二原図用紙に印刷しておく。 	

9-2 本時のねらいと展開 (本時 2/2)

①本時の目標

- ・シルクスクリーンによるプリント技術を身に付ける。(創造的な技能)
- ・何種か制作した作品の中からカレンダーに使う一枚を選ぶ。(鑑賞の能力)

② 準備物 指導者:木枠・テトロン・インク・紙コップ・ガムテープ・紙 生徒:エプロン

③ 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前回の活動の振り返り。 ○ 本時の活動の理解。 	<ul style="list-style-type: none"> 用意した図案のコピーを配布する。 版を刷ってみせる。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 太陽光で製版を行う。 ○ 各自、色を作って紙に刷っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 水道の数に合わせて、製版する順番や人数を調整する。 	<ul style="list-style-type: none"> 図案や色を印刷法に合わせて工夫して制作する。(創造的な技能)
まとめ	○ 何種か制作した作品の中からカレンダーに使う一枚を選ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 刷った状態や、色味などを見ながら、一枚を選ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者の作った作品から工夫した点やよさを感じる。(鑑賞の能力)

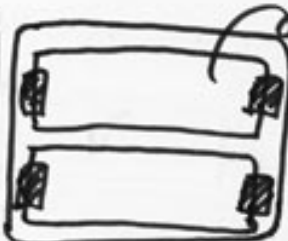
③ 刷ってみよう!!

2014.3.3 No2

- 準備 ● (2人で2つの机を使おう。)



刷り台



パレット

ここでインクを混ぜる。
パパの人と相談しながら
色を出していこう。
工夫しながら、グラデーションや
色変えもできる。



ガムテープで固定

新聞紙を折ったものを
クッション代わりにする。

紙をセット
新聞紙をひいて
テープで固定。

- ① スキージの先端に
インクをのせる



- ② スキージを版に
おしあてて。



- ③ 穴にインクを
通す!!



- ④ 完成



Point

・インクの色や用紙の素材、色を変えることで
できる違いをみつけよう!!